

高勿来 同窓会報

第47号
発行者 勿来高等学校
同窓会
いわき市勿来町
窪田町通2の1
県立勿来高等
学校 内

改姓・勤務先・住所
変更は速やかに事務
局までご連絡下さい。

TEL (0246)
65 - 2221



祝ご卒業

同窓会会長 金成武夫

晴れて卒業を迎えられた皆さんに、心からお祝いを申し上げます。

いよいよ高校生活を終えられ、社会人に、上の学校へ進学される訳ですが、不安と期待で胸がいっぱいではないでしょうか。

でも、二〇〇〇余名の卒業生が皆さんを見守っております。頑張ってください。皆さんの学校生活は、どんな三

年間だったでしょうか。

自分を取り巻くいろいろな事柄を体験し、大きく成長したのではないのでしょうか。又、同校で学んだ三年間の成果である卒業証書を手に入れた皆さんは、今、感無量の思いは、四十五年前の私と重なり、胸が熱くなります。本当におめでとございます。

又、来年は勿来高校同窓会も六十周年を迎えます。その

伝統ある、同窓会員として、皆さんを新しく迎えたいことを非常に、嬉しく思っております。これから本場の意味で人生の大きな第一歩です。企業は職場を提供してくれませんが、職業に就き、その仕事を全うするためには、その永続性、収益性、効率性の追求、さらには、各種の環境の変化に素早く対応しなければなりません。

これから社会人となられる皆さんには、今まで以上に戦略的な生き方が求められるかもしれません。今後、現実との、あまりに大きな落差に悩むこともあると思われ、そんな時、強い意志と、皆さんにしかない若さで乗り越えてほしいと思います。母校の発展もめざましく、県下有数のものと自負できるものと確信しております。同じ母校で学び、遊び、幾多の思い出を持つ同窓生にとって、母校の発展は、大きな喜びと誇りでありたい。

その喜びと誇りを胸に一人一人が社会であります責任を持って、一生懸命頑張る事が

更なる母校の発展につながっていくものと確信しております。卒業は一つの節目であり、本校の「校是」である「知性と自律」を正しく解釈し、本校で得られた豊かな心と視野を持って、自己管理、自己責任のもとに、ご自身がたてられた夢に向かい、しっかりとした目的意識を持ち、好き嫌いという感情に流されず、相手の立場に立って、人間形成に努め、何事にも知恵をだし、道は自分でつくりその道を自分で力強く歩んでほしいと思います。

卒業される皆さんには、世の中のさまざまな困難に耐えて物事をやり抜く忍耐力を身につけて、ひるまず立ち向かい、それらをひとつひとつ乗り越え新しい時代の旗手としてふさわしい人になってほしいと期待しております。

最後になりましたが、母校の益々の発展を祈念したいと思います。

ならば、一度は手習い、二度目は「清書」と言っています。ところが私たちが迎えては送る今日という時は、いまだかつて経験したことのない初めての新しい今日であり、この一日を過ごしてしまえば、も

与えられた課題です。同窓生の皆さんが過ごした、貴重な高校時代はどのような時代であったでしょうか。勿来高校には、今、二一六名の生徒が学んでいます。か

した。そこには二万二千人の、同窓会の皆さんの貴重な青春が、いまもここに存在しています。楽しいことやうれいことばかりではありません。苦しいことつらいこと、悲しいこともあります。かつて隣



同窓会報にて「青春は繋がっている」

校長 鎌倉雅臣

日の経つのは早いものである。時は川の流れに似て、絶えず未来の世界から自分の前に現れて今となり、そして過去へと過ぎ去って消えていきます。私たちは過ぎ去った日々をどうにも変えることができません、まだ手の届かぬ未来への憧憬を持って生きています。私たちが何とかなることができるのは、現在だけです。今とは何か、現在とは、過去と未来をつなぐ大切な一時でもありません。今を大切にしなければ、過去も未来も意味のないものになってしまうおそれがあります。

かつてロシアの作家チェーホフは、「人生が二度ある

うやり直すことのできない過去となってしまう。このようない日一日の連続が私たちの一生である以上、この人生をどう過ごしたら清書に近い人生になるのか、私たちに

つては一〇〇〇名近い生徒がいましたので、その五分の一となりました。様々な生徒がおり、その数だけの青春があります。かつてもそうでした。学校も六十三年を迎えま

で席をならべていた級友が、もうすでに鬼籍に入られています。様々な時代を背景に、共に青春を送った一時、貴重な時代です。だからこそ、この学校が

どうか、同窓生の皆さんのご理解ご支援を今後とも賜りますようお願い申し上げます。

関の子広場 ボランティア活動

関の子広場は、勿来駅前にある民間交番で、勿来高校では関の子広場と連携した活動に力を入れています。今年で四年目を迎えるこの活動。生徒会メンバーを中心とした有志数名で海岸や駅の清掃活動、小中学生の下校サポートなどのボランティア活動を行っています。また、一・二年

生はホームルーム活動の時間に、クラス単位で関の子広場の方々と活動をしています。生徒達は、この活動を通じて、人や地域の役に立つことの喜びや、地域の方々との交流の大切さなどを学んでいるようです。この活動を通じて、生徒達の成長につながればと思います。



総 会 報 告

六月十二日(土)、植田町「八幡台やまたま」にて平成二十二年度同窓会総会が行われ、六十七名の出席者がありました。

同窓会長あいさつでは、母校のさらなる発展のためバックアップしていくことに加え、平成二十四年の同窓会創立六十周年に向けて準備を始めることが提案され、参加者一同、心を一つにしました。

また、齋田議長の進行のもと、平成二十二年度事業計画案・予算案などの協議議題が審議され、全ての議題について賛成多数により承認されました。

引き続き行われた懇親会には、恩師である阿部ヨシ先生、赤津道也先生、榎田正行先生、小林延子先生、前校長の永山定昭先生のご出席を賜り、同窓会長のあいさつを皮切りに、おいしいお酒と料理に舌鼓を打ちながら旧交を温めます。



ご案内

平成二十三年度 同窓会総会

日時 平成二十三年六月十八日(土)

場所 八幡台やまたま

懇親会 午後六時三十分

懇親会会費 三,〇〇〇円

◎多数のご出席を心よりお待ちしております。



した。最後は校歌を参加者全員で肩を組んで斉唱。盛会のうち閉会となりました。

今年度は昨年よりも多くの方にご出席いただくことができました。同窓会創立六十周年に向けて、来年度はさらに多くの方々のご出席をお待ちしております。また、同窓生の方々よりこの総会に際し、ご寄付を賜りましたことを紙面をお借りしてお礼申し上げます。

同窓人脈 (第十六回)

阿邊松山さんの巻

同窓人脈第十六回は、臨済宗妙心寺派龍春寺の十五代住職・阿邊松山氏にご登場いただきました。阿邊さんは住職として活躍の傍ら、地域療育センター「子どもの家保育園」「第二子どもの家MAY」で児童デイサービス事業を行うなど、社会貢献活動に取り組まれいらつしやいます。また、経営なさっている「あざみ野幼稚園」では勿来高校生もボランティアをさせてもらっています。

高校当時の思い出や現在のお仕事について、お話を聞かせていただきました。

ハプロファイルV

勿来高校卒業後、大学を経て建長寺(鎌倉)、東京、静岡などで修行、二十六歳の時に龍春寺住職へ。龍春寺は一五五一年(天文二〇年)創建。

龍春寺は佐竹氏の屋敷跡で、佐竹又七郎の妻・春姫の菩提寺。龍春寺の「春」の字は春姫に由来。

司会 勿来高校時代の思い出をお聞かせください。

阿邊 私は勿来三小卒業と同時に東京に修行に出て、都立上野高校から勿来高校に転校してきました。高校当時の担任の先生は中根長久先生と熊谷寿太郎先生でした。あの頃は若い先生方が多く、赤津道也先生、石河強先生、西牧範昌先生、鈴木筆子先生など先生方の印象と思いが強く残っています。一クラス五〇名、全校九〇〇名の時代で、先輩後輩の縦社会がしっかりありましたが、私は籠球部でしたが、当時は剣道部や弓道部、

現在、龍春寺では平日毎朝五時から六時に「暁天座禅会」を行っており、誰でも自由に参加することができます。



テニス部が強かったですね。また美空食堂にはいろいろな思い出があります。今の名前(松山)は改名後で、高校時代は庶(ちかし)という名前でした。

司会 現在のお仕事を通して日頃考えていらつしやることは何ですか。

阿邊 いわきに帰ってきて三〇歳になった時にふと見回してみると、幼児のための福祉施設にはクリスマスチャンは多く携わっているけど、仏教は関わっていない。そこで他がやらないなら自分がやろうと思って、始めたのが自閉症な

阿邊 若いうちに死ぬ気で勉強した方がいいですね。最も大事なのは歴史と古典です。昔のことを知らないとい先が見えませんが、私は高校時代、源氏物語を六回読みました。図書館の貸し出しカードが書ききれなくなるほど、古典のいろいろな作品を読みませんでした。古典は読まないといけません。

それが地元から一度出てみる。それが大事ではないかと思えます。親のすねをかじって地元で暮らすだけでなく、地元から一度出て、外の世界で頑張ってみる。「艱難汝を玉にす」で、外の世界を知ること、自分の目的意識も高まり、地元の良さなどもよりわかるのではないのでしょうか。

同窓会だより

活躍して下さる「爽風号」!

★学校での利用

学校では関の子広場でのボランティア活動の際、勿来駅前までクラス全員で移動をするために爽風号を利用しています。皆が安全に移動できるのはもちろんですが、移動時間が短縮できるため、より関の子広場でのボランティア活動に時間を割くことができました。また、十一月に行われた三年生の就職面接会の際には、いわき駅前のラトプまでの移動に爽風号を利用しました。

参加者全員が同じバスで移動できたため、面接会の直前まで面接会に関する細かい指導をすることができ、本当に感謝しています。毎年恒例のPTA研修旅行にも爽風号を利用させていただきます。今年度は水戸方面に研修に行きましたが、多くの移動を伴うスケジュールにもかわらず、参加者の金銭的・体力的負担が少なくすむのは、爽風号があつてこそです。また、学校の名前の入った爽風号で移動することで、一体感をより強く感じることができました。

★一般・同窓生の利用
爽風号は、勿来高校生だけでなく、一般の方や同窓生にも貸し出しを行っております。同窓生の方のグループ旅行や、地域の小中学校、子ども会など、さまざまな場面で使用されています。人気のため、土日などは依頼が重なってしまふこともしばしば。生徒の利用がもちろん最優先ですが、今後も地域貢献の一環として貸出を続けていきたいと思っております。同窓生の皆様も貸し出しをご希望の際は、ぜひ学校までご連絡ください。



南署との連携・地域ボランティア活動

今年度は、生徒達が地域との交流を特に積極的に図ることができました。生徒会役員や生活安全委員を中心に、地域主催の行事への参加や、いわき南警察署と連携しての交通安全啓発活動など、精力的に取り組みました。今回はその一部をご紹介します。



9月21日には、「セーフティーウェーブ大作戦」と題して秋の交通安全運動が行われました。有志10名と関係職員が参加し、放課後、国道の県境付近で往來する自動車の運転手の方達へ交通安全を呼びかけました。国道に並んだ生徒達は、大きく手を振ったり、プラカードを掲げたりと、体を張った長時間にわたる活動であったにもかかわらず、笑顔で元気よく交通安全をアピールしていました。運転手



の方の中には生徒達に手を振って応えてくれる方も多く、生徒達も充実した時間を過ごすことができました。交通安全啓発活動としては、他にも夏・秋・冬の三回、学校向かいのマルトさんにて、買い物にいらした方への声かけ、ちらし配り等を行っています。

10月17日には「いわきシーサイドウォーク」

へボランティアの運営スタッフとして参加し、会場案内や参加者受付などの業務に携わりました。ボランティアスタッフとしては今回が初参加でしたが、生徒達は一生懸命汗を流していました。慣れない仕事に戸惑った際には、地元大学生のボランティアスタッフや地域の方々から温かいサポートを頂き、大会の運営が円滑に進むよう頑張る様子が見られました。



また、勿来高校初の取り組みとして、10月1日には交通安全啓発・資材贈呈式を催すことができました。式では南署の交通課長よりご講話を頂き、同窓会からは交通安全資材として、携帯ライトと蛍光ストラップを全生徒と全職員に贈呈して頂きました。資材を活用し、生徒職員一同、交通安全を心がけ、地域の模範となれるよう取り組んでいきたいと思ひます。



理研部

理科研究部では、理科実験、ホタルの飼育を含めた環境調査、野菜の栽培を主な活動として行っています。現在の部員数は一年生が十七名です。運動部と掛持ちしている生徒も多く、普段は五名前後で活動しています。

理科実験では硫酸の同素体作成やカルメ焼き作り、手作りモーターの作成などを行っています。

環境調査については、今年度より、勿来ひと・まち未来会議と共同でおこなうこととなり、七月には学校付近の水田でホタル成虫の捕獲をおこな



第16回新聞記事コンクール

編集局長賞 (河北新報社主催) 三年二組 赤津 ゆい

「日本の核問題に関する意識」

「八月六日は何の日ですか」この質問に何人の若者が答えられるだろうか。正直、私は答えられるかわからない。この日は広島に原子爆弾が落とされた日である。

私は修学旅行で広島原爆資料館に行ったことがある。目を背けたくなるような凄惨な写真がガラスケースに展示されていた。あの日をおさめた写真は私の心に衝撃を与えた。バスの中で私は核について考えていたが、あの凄惨な現実を受け入れられないでいた。

そんな私が核に対する意識を変えたのは、とある特集で報道された韓国人の被爆体験であった。当時の日韓関係は良好ではなかった。遠い異国の地で突然、被爆した人、亡くなった人。今でも後遺症で苦しむ韓国の老人。私は今まで日本人として被害者ぶっていた。だから、現実を受け入れることができなかった。

八月六日に行われた広島平和記念式典に国連事務総長として初めて潘基文氏が出席した。彼は韓国の代表ではなく、国連事務総長として出席した。だが、胸の内はどうだっただろう。同朋の無念の死に心を痛めていたのではないだろうか。

日本人として原爆の記憶は決して劣化させてはならないことだ。そして共に韓国人の人々と歴史を共有しなくてはならない。広島や長崎だけの問題として目を背けていく一方だ。

世界から核をなくす運動を米国のオバマ大統領をはじめ多くの人が行っている。唯一の被爆国として参加するだけでは日本の役割は果たせない。被爆国としての体験を発信しなくてはならないのではないか。それが、核問題に対する真摯な姿勢だと私は思う。

日本の若者として私にできるのは、原爆に対する苦しみを伝えることだろう。目をそらしてはならない現実を受け入れ、追求することだ。それが日本人として核問題を身近に考えるきっかけにもなるだろう。私たち若者は、もう少し歴史と対話しなくてはならない。

卒業生の進路状況について

進路指導主事 佐藤 圭子

日頃より同窓生の皆様には多方面でのご支援をいただきまして誠にありがとうございます。さて、今年度の卒業生の進路状況についてご報告させていただきます。

進学に関しては、一部看護系の受験を残していますが、今までのところ希望している生徒のほとんどが合格しております。また、喜ばしいことに今年度は三年ぶりに国立大学の合格者を出すこともできました。早い段階から目標を定め取り組んで行くことで、夢が実現できることを実践してくれました。在校生にとっても大きな励みとなりました。

次に、就職に関しては、昨年度の就職内定率の低さを改善すべく三年ぶりにインターンシップを再開いたしました。就労する前に、働くことの意義や正しい職業観を養うために生徒の希望職種をもとに就職支援員に受け入れ企業の開拓をお願いし、多くの企業にご協力を頂きました。さらに、その中の生徒が受け入れ企業に内定をいただくことができたことは大きな成果です。

平成22年度卒業生 進路決定状況 (平成23年2月15日現在)

	男	女	計
就職	6	15	21
進学	9	15	24
公務員	1	0	1

- ★主な就職先
 - 大木産業(株)小名浜工場
 - (有)白馬堂 (株)タクシン
 - 吉田整骨院 小泉食品(株)
 - サンコープリント(株)いわき工場
 - (株)アイメタルテクノロジー北茨城工場
 - 協三工業(株) (株)銀座
 - (株)飯塚電機工業
 - (株)大光
 - 社会福祉法人 白寿会
 - 医療法人 広瀬病院 (有)三香
 - (株)武蔵組
 - (有)ホテル美里
 - いわきグリフィン
 - しんデンタルクリニック
- ★公務員
 - 自衛官候補生
- ★主な進学先
 - 宮城教育大学
 - 東北芸術工科大学
 - いわき明星大学
 - 東日本国際大学
 - 秀明大学
 - 日本歯科大学東京短期大学
 - いわきコンピュータカレッジ
 - iwaki ヘアメイクアカデミー
 - 東北歯科専門学校
 - 国際メディカルテクノロジー専門学校
 - 中川学園調理技術専門学校
 - 水戸経理専門学校
 - 鯉沼学園農業栄養専門学校
 - 草加八潮医師会看護専門学校
 - トヨタ東京自動車大学
 - HAL東京、中央工学校
 - パンタンデザイン研究所
 - いわき看護専門学校
 - テクノアカデミー浜

